

臨床研究に関するお知らせ

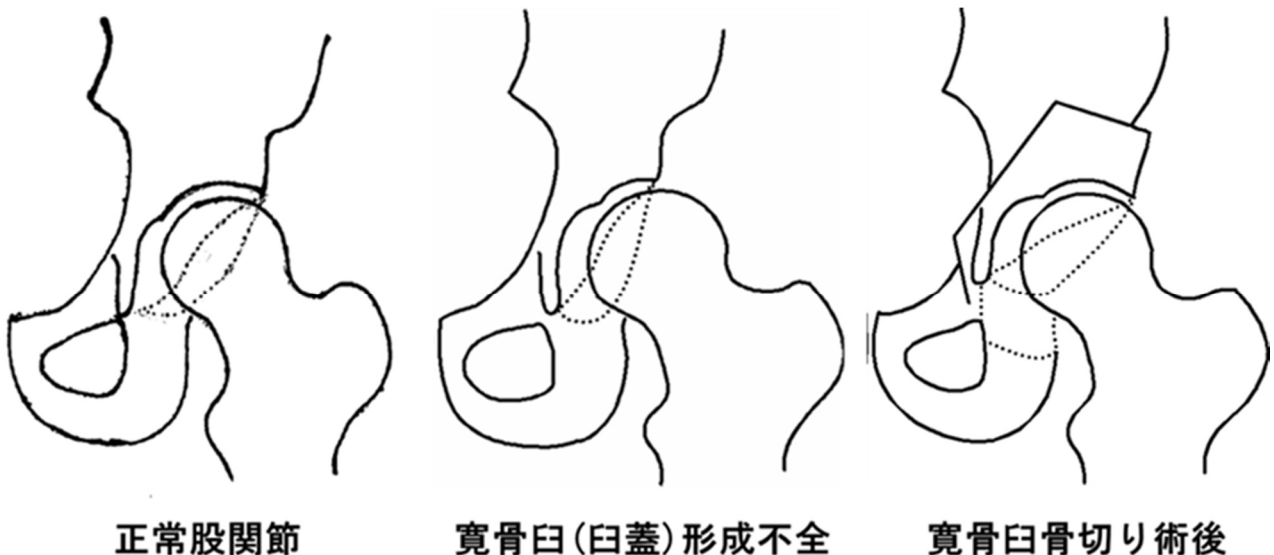
宮崎大学医学部附属病院整形外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：変形性股関節症患者の骨頭位置に関する研究

1. 研究の概要

変形性股関節症の原因は1次性（原因不明）と2次性（原因あり）があり、本邦では発育性股関節形成不全（先天性股関節脱臼）に由来する2次性が多いことが知られています。発育性股関節形成不全は関節の不安定性から軟骨の損傷が比較的早期に起こります。関節の変形が進みます若年時での人工股関節を余儀なくされるため、当科では変形性股関節症に対して寛骨臼骨切り術（不足している寛骨臼：屋根を骨切りし移動させる手術）を行い、関節温存に努めてきました。寛骨臼骨切り術は骨切りした寛骨臼を移動させ大腿骨頭を関節軟骨で被覆することを目的としているため、関節軟骨が残っている適切な時期に手術を行うことで一生涯、関節軟骨が温存され人工関節を受けなくて済む可能性があります。そのため、股関節症の発症・進行に起因する股関節不安定性の評価を目的とした研究が行われていますが、この大部分が単純X線正面像での評価が多く、側面像での評価はほとんどされていませんでした。

そこで本研究では、単純X線側面像を用いて骨頭位置から不安定性を評価することを目的とし、股関節症の発症時期、病期の評価ならびに関節温存手術の適切な手術時期を提唱することで、患者さんが一生涯自分の脚（股関節）で歩けるようになることを願っています。



本学の実施体制

【研究責任者】

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野 田島 卓也

2. 目的

股関節痛で困られている患者さんが適切な時期（関節軟骨が残っている時期）に関節温存手術を受けることで、人工関節を入れなくても一生涯自分の脚（股関節）で歩けるようにしたいと思います。

3. 研究実施予定期間

この研究は、以下の期間において実施されます。

研究機関の長による実施許可日から 2027年3月31日まで

4. 対象者

1990年1月1日～2026年3月31日までに宮崎大学医学部附属病院整形外科を受診し股関節の画像検査を実施した方が対象となります。

5. 方法

本研究で収集するデータは、対象患者の基本データ(年齢、性別、身長、体重)や診断名、過去の治療記録およびX線画像及びCT画像データ等、診療録に記載されたすべての情報になります。

本研究のために特別な機器やデータ収集はおこないません。また、試料の採取はおこないません。

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、個人情報保護や研究の独創性確保（あるいは、特許に関わる事象）に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、研究責任者が所属する診療科の研究費で賄われます

本研究は、企業および団体等と経済的な関与がないため、申告すべき利益相反はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12．参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は下記連絡先へ遠慮無く申し出て下さい。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13．疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院整形外科

氏名 帖佐 直紀

電話：0985-85-0986

FAX：0985-85-2931